



2024年11月14日

各位

会社名 株式会社 ラキール
代表者名 代表取締役社長 久保 努
(コード番号: 4074 東証グロース)
問合せ先 取締役コーポレート本部長 松本 英晴
(TEL. 03-6441-3850)

2024年12月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2024年2月14日の「2023年12月期 決算短信」で開示した2024年12月期（2024年1月1日～2024年12月31日）の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

1. 当期の連結業績予想数値の修正（2024年1月1日～2024年12月31日）

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり連結当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 9,215	百万円 1,044	百万円 1,034	百万円 668	円 銭 87.34
今回修正予想（B）	7,923	538	524	354	47.14
増減額（B－A）	△1,292	△505	△509	△314	
増減率（％）	△14.0%	△48.4%	△49.2%	△47.0%	
（参考）前期連結実績 （2023年12月期）	7,653	774	806	539	70.58

2. 修正の理由

売上高については、当社顧客企業のDX投資への関心は依然として高く市場環境は良好であるものの、提案する案件の大型化等により、製品ライセンスを始めとする新規契約の営業活動が長期化する傾向にあります。プロダクトサービスは、サブスクリプションがLaKeel Online Media Serviceの好調により計画通りに推移している一方、ライセンス販売及びこれに付随するコンサルティングサービスが当初計画を大きく下回っており、プロフェッショナルサービスは複数プロジェクトの規模縮小に伴い売上が減少したことから、通期連結売上高の予想を修正いたします。

利益面では、コンサルティングサービスとプロフェッショナルサービスの一部で低利益率の案件が生じており、第4四半期は来期を見据えた利益率改善の準備期間と位置づけ、低利益率案件の見直し等を行う方針です。連結営業利益、連結経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益については、販管費及び一般管理費が当初予想より減少する見込みであるものの、ライセンス、コンサルティングサービス及びプロフェッショナルサービスの売上修正に伴い各利益が減少するため、当初予想を修正いたします。

※本日（2024年11月14日）公表いたしました「2024年12月期 第3四半期決算説明資料」も併せてご参照ください。

※上記業績予想は、現時点において入手可能な情報にもとづき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以上